

「2024年の新年を迎えて」

日本複合・防音床材工業会会長
大建工業株式会社
国内営業本部シニアアドバイザー 松川 保



この度の石川県能登地方を震源とする地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔みを申し上げます。被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。

旧年中は工業会運営に際しまして多大なご支援、ご協力を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2019 年末から世界中でまん延した新型コロナウイルスが、季節性インフルエンザと同じ「5 類」に移行し、いまではコロナ前の生活を取り戻したように思います。

私どもを取り巻く環境を振り返ってみますと「アフターコロナ」に転換して、人々の関心ごとが住宅から旅行、飲食など遊興関連に移ってきているとの話も聞かれます。

住宅着工の減少、住宅価格の高騰や円安傾向の為替動向、原材料価格高値停滞の影響も大きく、会員企業の皆様をはじめ、業界全体も相当苦労されたように思います。

住宅政策としましては、「省エネ強化」と「子育て支援」をテーマに施策が施行されましたが、「2024 年問題」が目前に迫っており、今しばらくは将来が見通せない状況が続くと思われまます。

ここで昨年の活動を少し振り返ってみたいと思います。まず 6 月には令和 5 年度通常総会が大手町東京会館で開催され、正会員 13 社 26 名、賛助会員 29 社 44 名、来賓 7 名、総勢 77 名に出席いただきました。総会後は京都大学生存圏研究所 林知行特任教授による講演会が開催され、その後4年ぶりに懇親会も催されました。

次に技術委員会・床暖房規格運用検討チームです。床暖房試験規格について JAFMA が定めた条件、手続きを満たした会員販売の床暖房適合複合フローリングを JAFMA に登録する制度を昨年 4 月から開始しました。ガス会社と約束をした運用開始一年後の検証が必要であることから、今春までは現行メンバーで活動を続けて参ります。

また「防音直張りフローリング」の床暖房試験規格につきましても、新たな委員会を立上げ規格制定に向けた準備を進めていきたいと考えております。

資材流通委員会ですが、会員への情報提供、知見アップを目的にした見学会を実施しました。5 月に積水ハウス株式会社 総合住宅研究所「納得工房」(参加者 30 名)、10 月には日本航空 羽田工場(参加者 16 名)の見学会を実施し、多数の会員様にご参加いただきました。2024 年度も 2 回の見学会、勉強会を計画したいと思えます。

広報委員会は JAFMA ホームページ「フローリング・ナビ」で最もアクセス数が多い「防音関連」コンテンツの内容拡充を行いました。また 7 月より会員向けメルマガ「フロナビニュース」による情報配信を開始しました。2024 年度も引き続きコンテンツ拡充を進めていき、閲覧者にとって役に立つホームページにしていきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、工業会会員の皆様並びに「産・官・学」関係者の方々の、より一層のご支援をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も引き続きお引き立ての程よろしくお祈り申し上げます。